

令和2年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

小千谷市教育委員会

【目 次】

I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

1	教育委員会 第4回定例会	(平成2年4月27日開催)	……	1
2	教育委員会 第5回定例会	(令和2年5月19日開催)	……	2
3	教育委員会 第6回定例会	(令和2年6月18日開催)	……	2
4	教育委員会 第7回定例会	(令和2年7月22日開催)	……	2
5	教育委員会 第8回定例会	(令和2年8月18日開催)	……	3
6	教育委員会 第9回定例会	(令和2年9月25日開催)	……	3
7	教育委員会 第10回定例会	(令和2年10月22日開催)	……	4
8	教育委員会 第11回定例会	(令和2年11月27日開催)	……	4
9	教育委員会 第12回定例会	(令和2年12月22日開催)	……	5
10	教育委員会 第1回定例会	(令和3年1月27日開催)	……	5
11	教育委員会 第2回定例会	(令和3年2月19日開催)	……	6
12	教育委員会 第3回定例会	(令和3年3月23日開催)	……	6

II 教育委員会における事務の点検及び評価

1 学校教育の充実

(1) 幼児教育の充実

ア	家庭、地域における幼児教育の充実	……	7
イ	子ども読書活動の推進	……	8
ウ	教育相談の充実	……	8

(2) 小・中学校教育の充実

ア	学校の創意を活かす教育の推進	……	9
イ	学ぶ意欲を高める学習指導の推進	……	9
ウ	ふるさと学習・キャリア教育の推進	……	10
エ	震災体験を活かした防災教育の推進	……	10
オ	読書活動の推進	……	11
カ	英語教育・国際理解教育の充実	……	12
キ	日本語指導等を必要とする児童・生徒への対応	……	12
ク	いじめ・不登校対策、人権感覚を育む教育の推進	……	13
ケ	非核平和教育の推進	……	13
コ	食育の推進	……	14
サ	学校給食の運営	……	14

(3)	特別支援教育の充実	
ア	就学相談体制の充実	15
イ	通級指導教室の拡充	15
ウ	総合支援学校の運営支援	15
エ	特別支援教育の充実	16
オ	生徒への就労支援	16
(4)	教育環境の整備	
ア	学校施設の整備・充実	16
イ	学校給食施設の整備・充実	17
ウ	情報化の推進	18
(5)	育英事業の推進	
ア	育英事業の支援	18

2 生涯学習の推進

(1)	生涯学習事業の推進	
ア	学習機会の充実	19
イ	グループ活動の支援	20
ウ	指導体制の充実	20
エ	公民館活動の充実	20
オ	図書館サービスの充実	21
カ	生涯学習施設の整備	22
(2)	青少年の健全育成	
ア	相談業務の充実	23
イ	育成指導体制の充実	23
ウ	家庭教育の支援	24
エ	地域活動などへの参加推進	24
オ	地域ボランティアの活動支援	25
カ	子ども・若者育成への支援	25
キ	勤労青少年の活動支援	25

3 文化の振興

(1)	文化・芸術の振興	
ア	文化団体などの育成支援	26
イ	芸術鑑賞の機会の充実	26
(2)	文化財等の保存と活用	
ア	文化財の調査、保存	27
イ	文化施設(郷土資料館等)の整備	27
ウ	後継者の育成	28
エ	郷土の偉人の顕彰	28

4	スポーツの振興	
	(1) 地域スポーツの振興	
	ア 生涯スポーツの推進	28
	イ 競技スポーツの推進	29
	ウ スポーツ活動の普及推進	30
	エ 指導者養成の推進	30
	オ 健康・体力づくりの推進	31
	(2) 体育施設の整備	
	ア 体育施設の整備・充実	31
	イ 白山運動公園の再整備計画	32
	ウ 屋根付き屋外運動施設の整備検討	32
5	人口減少対策	
	ア 少子化対策の推進	32
Ⅲ	点検及び評価に対する意見等	33

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、小千谷市教育委員会の令和2年度における事務の管理及び執行の状況について、教育施策が着実に執行されているかなど、学識経験者からご意見をいただきながら、点検及び評価を行い、その結果を報告するものです。

教育を取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、市教育委員会の事務・事業につきまして一層のご理解を深めていただくとともに、「人を育み文化の香るまちづくり」のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

小千谷市教育委員会

【学識経験者】

- ・ 竹内正宏（新潟県立小千谷高等学校長）
- ・ 藤井和夫（小千谷市社会教育委員会委員長）
- ・ 吉原正幸（小千谷市スポーツ協会会長）

I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

令和2年度に教育委員会定例会を12回開催し、31件の議案を審議しました。また、議事録承認12件、陳情1件、協議報告事項は71件でした。審議の結果は、以下のとおりです。

1 教育委員会第4回定例会

- ・ 日時 令和2年4月27日(月) 午後3時33分～午後4時48分
- ・ 場所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和2年第3回定例会
- ・ 議事 (4件)

議案第10号	新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る教育委員会の対応について	原案可決
議案第11号	小千谷市立学校管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認
議案第12号	小千谷市社会教育指導員の設置に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認
議案第13号 (非公開)	臨時代理について（附属機関の委員の人事について）	原案承認

- ・ 協議報告事項（4件）
 - ・ 新型コロナウイルス対応について
 - ・ 新入学後の子どもたちの様子について
 - ・ 令和2年度教育委員・管理指導主事学校訪問日程調整について

- ・ 中学校の全教科教科書採択について

2 教育委員会第5回定例会

- ・ 日 時 令和2年5月19日(火) 午後4時00分～午後5時02分
- ・ 場 所 総合体育館体育団体室
- ・ 議事録承認 令和2年第4回定例会
- ・ 議 事 (3件)

議案第14号	小千谷市立学校管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認
議案第15号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認
議案第16号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認

- ・ 協議報告事項(3件)
 - ・ 新型コロナウイルス対応について
 - ・ 今後の各種行事・大会等の中止について
 - ・ 令和2年度教育委員・管理指導主事学校訪問日程調整について

3 教育委員会第6回定例会

- ・ 日 時 令和2年6月18日(木) 午後4時05分～午後5時03分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和2年第5回定例会
- ・ 議 事 (3件)

議案第17号	小千谷市立中学校における部活動交流試合の開催について	原案可決
議案第18号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認
議案第19号 (非公開)	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和2年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第4号)について))	原案承認

- ・ 協議報告事項(5件)
 - ・ 新型コロナウイルス対応について
 - ・ 長岡信金からの寄附について
 - ・ 生涯学習課の事業について
 - ・ 学校訪問の様子について
 - ・ 小千谷奨学会理事会について

4 教育委員会第7回定例会

- ・ 日 時 令和2年7月22日(水) 午後3時34分～午後5時18分
- ・ 場 所 総合体育館体育団体室

- ・ 議事録承認 令和2年第6回定例会

- ・ 議 事 (4件)

議案第20号	特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書の採択について	原案可決
議案第21号	中学校教科用図書の採択について	原案可決
議案第22号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認
議案第23号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認

- ・ 協議報告事項(7件)

- ・ 市議会第2回定例会一般質問について
- ・ 小千谷学生寮への女子入寮について
- ・ 市民プールのオープンについて
- ・ 非核平和に関する企画展について
- ・ 一学期間のいじめ・不登校等について
- ・ 学校訪問の様子について
- ・ 新型コロナウイルス対策関連の寄贈について

5 教育委員会第8回定例会

- ・ 日 時 令和2年8月18日(火) 午後4時57分～午後5時22分

- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室

- ・ 議事録承認 令和2年第7回定例会

- ・ 議 事 (1件)

議案第24号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和2年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第5号)について))	原案承認
--------	---	------

- ・ 協議報告事項(5件)

- ・ 市立学校の修学旅行について
- ・ 成人式の日程について
- ・ 部活動交流試合の結果について
- ・ 夏休みの児童・生徒の状況等について
- ・ 中学校運動会の日程について

6 教育委員会第9回定例会

- ・ 日 時 令和2年9月25日(金) 午後2時05分～午後3時21分

- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室

- ・ 承議事録認 令和2年第8回定例会

- ・ 議 事 (2件)

議案第25号	中学校への携帯電話の持ち込みについて	原案可決
--------	--------------------	------

議案第26号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（令和2年度小千谷市一般会計（教育委員会所管）補正予算（第6号）について）	原案承認
--------	--	------

- ・ 陳 情 （1件）

陳情第1号	小千谷市教育の振興に関する要望書	原案可決
-------	------------------	------

- ・ 協議報告事項（8件）
 - ・ 市議会第3回定例会における一般質問について
 - ・ 「中越大震災の日」に係る取組について
 - ・ 市立学校の修学旅行の状況について
 - ・ 視察研修の内容について
 - ・ 旧小千谷総合病院跡地整備事業の事業手法について
 - ・ 2020おぢや謎とき!?ウォークラリーの実施について
 - ・ 成人式の日程について
 - ・ 総合教育会議の議題について

7 教育委員会第10回定例会

- ・ 日 時 令和2年10月22日(木)午後2時40分～午後3時24分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和2年第9回定例会
- ・ 議 事 （1件）

議案第27号	個人演説会等開催のために必要な施設及び個人演説会等の施設の公営のために納付すべき費用の額の一部改正について	原案承認
--------	---	------

- ・ 協議報告事項（6件）
 - ・ 中越地区中学校駅伝競走大会の結果について
 - ・ 第40回小千谷市展について
 - ・ 小千谷市民文芸のつどいについて
 - ・ 東小千谷体育センターにおける身体事故について
 - ・ 視察研修の感想について
 - ・ 総合教育会議の議題について

8 教育委員会第11回定例会

- ・ 日 時 令和2年11月27日(金)午後4時15分～午後4時48分
- ・ 場 所 市役所403会議室
- ・ 議事録承認 令和2年第10回定例会
- ・ 議 事 （1件）

議案第28号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（令和2年度小千谷市一般会計（教育委員会所管）補正予算（第7号）について））	原案承認
--------	---	------

- ・ 協議報告事項（8件）
 - ・ 県中学校駅伝競走大会の結果について
 - ・ おぢやしごと未来塾について
 - ・ 修学旅行の報告について
 - ・ 県優秀教職員表彰について
 - ・ 当市への寄附について
 - ・ 成人式の延期について
 - ・ 文化・スポーツ行事について
 - ・ 東京2020公式アートポスターの展示について

9 教育委員会第12回定例会

- ・ 日 時 令和2年12月22日(火) 午後4時00分～午後4時56分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和2年第11回定例会
- ・ 協議報告事項（5件）
 - ・ 第4回市議会定例会における一般質問について
 - ・ 「年初めスポーツイベント」について
 - ・ 総合支援学校の増築棟工事とオープニングセレモニーについて
 - ・ 2学期の総括について
 - ・ GIGA スクール構想実現に向けた教育委員会の取組方針等について

10 教育委員会第1回定例会

- ・ 日 時 令和3年1月27日(水) 午後4時15分～午後5時22分
- ・ 場 所 市役所402会議室
- ・ 議事録承認 令和2年第12回定例会
- ・ 協議報告事項（9件）
 - ・ 中学校修学旅行の行き先変更について
 - ・ 給食センター調理配送業者選定プロポーザルの結果について
 - ・ 南小・中学校のスクールバス運行経路の変更について
 - ・ 県中学校スキー大会の結果及びソフトテニス全国大会出場について
 - ・ 中学校・総合支援学校の卒業式の日程と出席について
 - ・ 東小千谷中学校生徒による発表会について
 - ・ 東京2020オリンピック聖火展示について
 - ・ 小千谷学生寮への女子の入寮について
 - ・ 小千谷市ICT教育基本方針（案）について

1 1 教育委員会第2回定例会

- ・ 日 時 令和3年2月19日(金) 午後4時00分～午後5時06分
- ・ 場 所 総合体育館体育団体室
- ・ 議事録承認 令和2年第2回定例会
- ・ 議 事 (5件)

議案第1号	小千谷市ICT教育基本方針について	原案承認
議案第2号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和2年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第8号)について))	原案承認
議案第3号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和2年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第9号)について))	原案承認
議案第4号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和3年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)当初予算について))	原案承認
議案第5号 (非公開)	令和3年度管理職教職員人事異動の内申について	原案承認

- ・ 協議報告事項(4件)
 - ・ 令和2年度体罰調査に係る報告について
 - ・ 小千谷ジャンプ大会について
 - ・ エデュケーショントークについて
 - ・ 新年度の主な日程について

1 2 教育委員会第3回定例会

- ・ 日 時 令和3年3月23日(火) 午後4時00分～午後4時36分
- ・ 場 所 総合体育館体育団体室
- ・ 議事録承認 令和3年第3回定例会
- ・ 議 事 (8件)

議案第6号	小千谷市教育委員会組織規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認
議案第7号	小千谷市教育支援委員会規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認
議案第8号	小千谷市教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認
議案第9号	小千谷市立学校管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認

議案第10号	小千谷市立学校の施設、設備の管理に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認
議案第11号	小千谷市教職員住宅管理規程の一部を改正する規程の制定について	原案承認
議案第12号	小千谷市都市公園体育施設等の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認
議案第13号 (非公開)	臨時代理について(教育委員会事務局、教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事を行うことについて)	原案承認

- ・ 協議報告事項 (7件)
 - ・ 令和3年度小千谷市教職員の人事異動について
 - ・ 市議会第1回定例会一般質問について
 - ・ 中学校卒業式の感想について
 - ・ 第34回信濃川河岸段丘ウォークの開催について
 - ・ 旧小千谷総合病院跡地整備計画について
 - ・ 2021全日本小学生選抜クロカン大会について
 - ・ 令和2年度教育委員会総括

II 教育委員会における事務の点検及び評価

第五次小千谷市総合計画に定める施策のうち、教育委員会が所管する施策について点検・評価を行いました。

具体的には、前期基本計画に分野別に体系づけられた「施策の基本方針」について、令和2年度の取り組み状況を点検・評価したものであり、その結果は以下のとおりです。

なお、取組状況を補足するうえで、小千谷市が調製した「令和2年度 主要な施策の成果説明資料(兼事務報告)」(以下「資料」という。)を参照することが適当なものは、資料の該当ページを表示しました。

1 学校教育の充実

(1) 幼児教育の充実

ア 家庭、地域における幼児教育の充実

【令和2年度の取組み】

- 幼児期における家庭教育の普及・振興を図るための講演会や親子教室等を、幼稚園等を会場として実施した。

実施回数 5 (幼稚園等) 参加者数 163人

【成果及び今後の取組み等】

- 家庭教育の普及・振興を図るため、幼児期における家庭教育の課題解決のため保護者に情報提供を行うとともに、幼稚園等と連携して幼

児教育の充実を図った。

- 健やかな子どもの成長のために、早い段階から基本的な生活習慣を身につけることが重要であることから、健康部局や公民館分館と連携し、啓発する必要がある。
- わんパークの子育て講座終了後の受講者による自主サークル化への誘導が必要となる。(親同士の相談、仲間づくり、主体的な問題解決)

イ 子ども読書活動の推進

【令和2年度の取組み】

- 図書館の本を団体貸出として、幼稚園や保育園等に配本した。
526件 7,255冊 (ただし、小中学校、団体等の延べ数)
- 赤ちゃんの頃から絵本に親しみ、絵本を通じて親子の時間ができるよう、市の10ヶ月健診を受診する親子を対象に実施するブックスタート事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、読み聞かせを行わず絵本等のプレゼントのみ実施した。
実施回数 12回 参加人数 196人

※資料P176～180 「○図書館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- ブックスタート事業を関係部局と連携し実施することで、家庭での乳幼児への読み聞かせの啓発が進んでいる。
- 保育園等では読み聞かせや、家庭への貸し出しが実施されており、保護者への情報提供や啓発活動を多くの園で行っている。
- 子どもの本を用意する親が多いことから、今後も保育園等を通じて、本に親しむ機会を作り、併せて保護者への啓発を推進していく。
- 「子ども読書活動推進計画」に基づき、本を手に取りやすく、本に興味をわくような空間づくり、展示方法を工夫していく。

ウ 教育相談の充実

【令和2年度の取組み】

- 教育支援委員会、保育園等関係機関と連携し、就学に関する情報交換及び就学相談に対応した。
- 就学相談をより円滑に推進するため、各園における特別支援教育の相談窓口となる発達支援コーディネーターを各園に配置し、研修会の実施や小学校との情報交換を行った。
- 各園を対象とした巡回訪問を行い、就学相談等への助言や就学前から園児についての情報収集を行った。

※資料 P 156～160 「○教育指導経費」 参照

【成果及び今後の取組み等】

- 各園と学校との連携及び調整を円滑に図ることができた。
- 巡回訪問を行うことにより、早期からの就学相談につながった。
- 幼保小の就学相談に関わる連携体制の充実を図る。
- 特別支援教育に係る研修の充実を図る。

(2) 小・中学校教育の充実

ア 学校の創意を活かす教育の推進

【令和 2 年度の取組み】

- 「おちやっ子教育プラン」(令和元～3年度)の内容を学校訪問の際に各学校に周知し、教育プランの理解を図った。
- 「おちやっ子教育プラン」(令和元～3年度)に基づき、校長のリーダーシップのもと、各校が「おりなす教育推進事業」計画を立て、家庭・地域と共に学校・地域の特色を生かした実践を行った。
- 各校の「おりなす教育推進事業」を冊子にまとめ配付している。各校は他校の取組を参考にすることができている。

※資料 P 156～160 「○教育指導経費」 参照

【成果及び今後の取組み等】

- 学校訪問等を通して、「おちやっ子教育プラン」の教職員への周知が図られた。
- 「おちやっ子教育プラン」のよこ糸である家庭や地域の役割を各学校がグランドデザインに取り入れている。家庭・地域への周知が図られ、好ましい生活習慣の確立やインターネット等の利用について理解が深まっている。
- 中学校でも全面実施となる学習指導要領の趣旨を生かし、社会に開かれた教育課程を創造し、地域の人材や教育資源を活用した特色ある教育活動を一層、推進していく。

イ 学ぶ意欲を高める学習指導の推進

【令和 2 年度の取組み】

- 市教育研究会と連携した指導力向上研修と若手教員対象の小千谷塾及び全小・中学校への市教委訪問における指導助言で、教職員の指導力向上を図った。
- 一人一台パソコンを活用し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する「小千谷市 I C T 教育基本方針」を定め、管理職への説明会を実施

した。一人一台パソコンは、児童生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推し進めるものである。ハード面の整備、教職員の研修会実施に取り掛かった。

- 新型コロナウイルス感染症のため全国学力・学習状況調査は実施されなかったが、児童生徒質問紙の実施を市内の各校に依頼し、市教委で分析を行った。生活習慣や学習習慣に関する実態や問題点・改善点を明確にし、改善に取り組むように各校を指導した。

※資料 P 156 「○教育委員会経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 「小千谷市 I C T 教育基本方針」の策定により G I G A スクール構想に向けた道筋が明確となった。今後、研修会の実施や学習ソフト・電子黒板の購入などの面で学校現場を支援していく。
- 各種研修会においては、実践的な指導ができ、日々の授業づくりに役立つ知識・技術を身に付けてもらうことができた。

ウ ふるさと学習・キャリア教育の推進

【令和 2 年度の取組み】

- 「おりなす教育推進事業」（令和元～3年度）を実施し、子どもたちが、小千谷の自然・歴史・人と繰り返しかかわる（おりなす）教育を推進した。
- コロナ禍であったが、市内の企業及び事業所からの協力を得て工夫をすることで、中学校 1・2 年生対象の「おぢやしごと未来塾」を実施することができた。「職場体験活動」については新型コロナウイルス感染症予防のため中止とした。

※資料 P 156～160 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 地域に根ざした特色あるふるさと学習・キャリア教育を推進できた。来年度は現行「おぢやっ子教育プラン」の最終年度であり、これまでの取組を発展させながら、ふるさと学習に取り組む。
- キャリアパスポート用のファイルを用意した。校種が変わっても継続して利用し、社会に求められる資質・能力を育んでいく。

エ 震災体験を活かした防災教育の推進

【令和 2 年度の取組み】

- 「防災教育の推進」を「おぢやっ子教育プラン」に位置付け、年間を

通して計画的に防災教育を推進した。

○中越大震災を風化させない取組を各校で推進した。

※資料 P 156～160 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 「おぢや震災ミュージアム そなえ館」の活用を推進し、震災への備えを進めていく。
- 地域を巻き込んだ防災訓練や体制整備を進める。
- 洪水や土砂災害など自然災害が頻繁に起こる状況になっている。地域の安全を意識し、地域の安全を守る子どもたちを育てていく。

オ 読書活動の推進

【令和2年度の取組み】

- 各学校の要望により図書館が outgoing、大型紙芝居や読み聞かせを行う「学校おはなし会」を1小学校で実施した。
- 遠隔地へのミニ移動図書館の実施を行った。
1小学校 計7回 貸出延べ143人、412冊
- 数冊の図書をテーマに沿って紹介し、本への関心や読書への意識向上を図るブックトークを実施した。
2小学校 計8回 1中学校 1回 参加者延べ342人
- 図書館PR DVDを作成し、遠隔地や新型コロナウイルス感染拡大防止のため来館できない小学校へ配布し、図書館の使い方などを紹介した。
- 小中学校においては、「朝読書」などの全校一斉読書について取り組んだ。
- 小学校では読み聞かせやブックトーク、ペア読書など、中学校ではおすすめ本の紹介や年間貸出ランキングの作成、また、図書POPコンテストの実施・表彰などの委員会企画が行われている。

※資料 P 176～180 「○図書館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 「子ども読書活動推進計画」に基づき、読書教育、資料の活用等について学校図書館と連携を図っていく。
- 図書館で学校向けに行っている各種サービスの利用が増えるよう、学校に向けてさらに情報発信をする。
- 学校図書館担当者連絡会議などで情報交換を行うことで、ブックトークなどの学校向け事業の利用につながり、子どもたちが読書へ興味を持つきっかけづくりとなった。

- おはなし会などは小学校低学年が主流であったが、ブックトークを実施することで、小学校高学年、中学校からの利用があった。
- 授業に関連した教材提供など、学校の要望に対応するよう連携を図る。
- 書架整理や新着図書の受入など地域ボランティアと連携して行うことで、学校図書館を訪れやすい環境に整える必要がある。

カ 英語教育・国際理解教育の充実

【令和2年度の取組み】

- A L T 4名、外国語指導助手1名、英語教育推進員1名を配置し、外国語教育、国際理解教育を推進した。(夏以降はA L T 3名)
- 小学校での外国語教育推進のため、市教育研究会の外国語教育部で外部講師(県センター主事)を招聘し、研修を行った。
- ウインターイングリッシュキャンプは新型コロナウイルス感染症予防のため中止とした。

※資料P 156～160 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 来年度は、感染症対策をした上で、ウインターイングリッシュキャンプを実施し、児童生徒の国際理解、英語力向上を図っていく。
- コロナ禍のため来日予定であった新A L Tが来日を断念した。グローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、引き続きA L T等の人材の確保に努める。

キ 日本語指導等を必要とする児童・生徒への対応

【令和2年度の取組み】

- 日本語指導を必要とする児童に対して、指導補助員を配置し、学習や生活面で支援した。

※資料P 164 「○小学校教育振興経費」参照

※資料P 166～167 「○中学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 指導補助員を配置することで、児童生徒が安心して学校生活を送ることができた。
- 今後も日本語指導等を必要とする児童生徒に対して、自立に向けた支援を継続的に行う。

ク いじめ・不登校対策、人権感覚を育む教育の推進

【令和2年度の取組み】

- 児童生徒のいじめ報告や出欠状況報告を毎月、学校に要請している。報告を基に青少年育成センター所長、教育センター「マイルーム」指導員、市教育相談員、学校教育課管理指導主事で毎月、相談会を行ない、実態把握や対応の検討を行っている。
- 「いじめ・不登校等対策協議会」を開催し、事例を基に、不登校児童生徒に対するかかわり方について協議を行った。
- 「いじめ対策専門委員会」を開催し、事例を基に、様々な立場から、いじめ対応についての専門的なご意見をいただいた。
- 生徒指導主事・生活主任対象のいじめ・不登校対応研修を年2回、実施し、対応力の向上を図った。
- 全国人権・同和教育研究会により多くの教員が参加し研修できるように、参加費や交通手段等の支援体制を準備した。

※資料P156～160 「○教育指導経費」参照

※資料P160～161 「○適応指導教室経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 学校の早期発見・早期対応により、いじめの重大事態はなかった。
- 生徒指導担当者研修を受けて、各校でいじめに関する教職員研修が行われ、教職員のいじめに対する知識や対応能力の育成が図られた。
- 小学校での不登校児童生徒が増加しており、より組織的かつ継続的な未然防止の取組と不登校児童生徒への早期対応が必要である。
- 不登校については、学級担任が抱えることなく、校内での協力体制や外部機関との連携を図っていく必要がある。教育委員会がハブの役割を果たしていく。
- 同和教育に関わる教職員の研修への支援は、今後も継続していく。

ケ 非核平和教育の推進

【令和2年度の取組み】

- コロナ禍により、予定していた被爆体験伝承講話会等は実施できなかった。

【成果及び今後の取組み等】

- 社会科や道徳、国語の授業を通して、児童生徒は生命や平和の大切について学んだ。
- コロナ禍等により被爆体験伝承講話会や広島平和記念式への生徒の派遣事業などの実施ができない場合の対応を準備しておく必要がある。

る。

コ 食育の推進

【令和2年度の取組み】

- 給食週間の実施や給食だよりの発行など、学校給食を通して、児童生徒及び保護者に対し食に関する正しい知識と望ましい食習慣について周知を図った。
- 市内全校での小千谷産コシヒカリを使用した米飯給食の実施や、地元農家等と協働して地場産野菜を使用することで、地産地消の観点から食育についての啓発を図るとともに、食を通じて地域の理解を深めた。更に、地場産物の利用促進を図るため、地元納入業者及び農家と懇談会の場を設けた。
- 「10.23 中越大震災の日給食」として、震災時を想定し、備蓄できる食品を活用しながら、簡単な調理作業により提供できる献立による給食を市内統一で実施した。

※資料P182～183「○学校給食経費 ○学校給食センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 地場産物の活用により、食育の生きた教材となる学校給食としての役割を果たしている。
また、地元納入業者及び農家との懇談会により小千谷産の地場野菜の利用向上に繋がった。
- 栄養教諭や学校栄養職員を中心に、児童生徒及び保護者に対して学校給食、授業、試食会等を通して食育を継続していく。
- 学校給食を通じた防災体験活動として「10.23 中越大震災の日給食」を継続し、併せて児童生徒の防災意識の向上を図る。

サ 学校給食の運営

【令和2年度の取組み】

- コロナ禍により、調理員等の資質向上のための研修会は書面での縮小開催となった。
- 学校給食センター調理・運搬業務の民間委託業者の業者選定を行った。

【成果及び今後の取組み等】

- 給食従事者にとって衛生管理に関する研修会は重要なことから、通常の研修会開催ができない場合の対応など検討する必要がある。
- 学校給食センターの調理・運搬業務の厳正かつ適正な指導・評価を行い、引き続き安全・安心な給食の提供に努める。

(3) 特別支援教育の充実

ア 就学相談体制の充実

【令和2年度の取組み】

- 就学相談の手引となる「就学相談の進め方」を見直し、就学相談体制の充実を図った。
- 各園の「発達支援コーディネーター」を対象とした研修会を実施し、園での就学相談体制を整えるとともに、小学校への情報提供を行い、適正な就学に努めた。
- 各園への巡回訪問を行い、園児の様子について情報収集し、その後の就学相談につなげた。

【成果及び今後の取組み等】

- 就学相談について保護者と学校との調整を図ることで、就学前児童の円滑な就学を進めることができた。
- 保育園・認定こども園と小学校との円滑な連携が進められた。
- 各園職員の特別支援教育への理解、各小中学校の専門相談員の適切な就学の相談や判断のあり方等研修を進めていく。

イ 通級指導教室の拡充

【令和2年度の取組み】

- 通級指導教室（言語障がい、発達障がい）を有効活用し、小学校の特別支援教育の支援を行った。
- 小千谷小学校に通級指導教室（言語障がい）の増設にともない、環境整備や通級担当指導者の養成の支援を行った。

【成果及び今後の取組み等】

- 小千谷小学校の通級指導教室（言語障がい）の増設により、大勢の児童をより丁寧に支援することができ、特別支援教育の充実が図れた。
- 通級指導教室（発達障がい）の増設に向け、指導者の養成を計画的に進めていく必要がある。

ウ 総合支援学校の運営支援

【令和2年度の取組み】

- 地域コーディネータを配置し、各学校と総合支援学校とのホットラインを活用した、相談支援体制の充実を図った。
- 総合支援学校主催の研修講座を工夫して実施し、市の特別支援教育の充実を図った。

【成果及び今後の取組み等】

- 総合支援学校とその他の学校、保育園・認定子ども園との連携がより充実した。
- 教員のニーズに応じた研修講座を実施し市内教職員の積極的な参加を促す。

エ 特別支援教育の充実

【令和2年度の取組み】

- 小・中学校に特別支援アシスタント29名、小学校に学校支援員17名を配置し、個のニーズに応じたよりきめ細やかな支援に取り組んだ。
- 地域における特別支援教育の充実を図るため、総合支援学校に設置された地域支援・特別支援教育推進部の活用を進めた。
- 総合支援学校のセンター的機能を活かし、相談支援ネットワークの構築を図った。

※資料P164 「○小学校教育振興経費」参照

※資料P166～167 「○中学校教育振興経費」参照

※資料P169 「○特別支援学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 総合支援学校の地域支援・特別支援教育推進部が、各園や学校と積極的に連携し、児童生徒の個別の相談や支援を進めた。
- 通常学級に在籍する発達障がい疑われる児童生徒に対する、適切な指導・支援を学ぶ研修をさらに充実させる。

オ 生徒への就労支援

【令和2年度の取組み】

- ハローワーク主催の企業説明会への参加や市内企業、障がい者就労施設での現場実習に取り組んだ。

【成果及び今後の取組み等】

- 生徒の希望に沿った現場実習を継続的に行うことで、生徒の適性に合った適切な就労につなげることができた。
- 高等部の卒業生の増加にともない、就労継続支援B型の拡充を働きかけていく。

(4) 教育環境の整備

ア 学校施設の整備・充実

【令和2年度の取組み】

- 小学校の校舎整備工事を実施した。
 - G I G Aスクール構想のための校内L A N設備等設置工事を実施した。
 - 〈主な工事〉
 - ・東小千谷小学校児童玄関外装改修工事
 - ・和泉小学校職員室系統冷暖房設備改修工事
 - 中学校の校舎整備工事を実施した。
 - G I G Aスクール構想のための校内L A N設備等設置工事を実施した。
 - 〈主な工事〉
 - ・千田中学校2階東側バルコニー防水改修工事
 - 総合支援学校の校舎整備工事を実施した。
 - G I G Aスクール構想のための校内L A N設備等設置工事を実施した。
 - 〈主な工事〉
 - ・総合支援学校作業室棟増築工事
 - ・総合支援学校屋内運動場屋根改修工事
- ※資料P 165 「○小学校施設整備事業」参照
 ※資料P 168 「○中学校施設整備事業」参照
 ※資料P 168 「○特別支援学校管理経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 校内L A N設備設置工事により、G I G Aスクール構想における無線通信環境が整備された。
- 各種修繕、改修工事により校内環境の改善、向上が図られた。
- 学校施設の老朽化や教育環境の変化に対応した施設整備を計画的に実施する。
 - 〈今後の主な工事〉
 - ・小中学校特別教室エアコン設置工事
 - ・学校プールろ過機改修工事
 - ・総合支援学校屋外避難路整備工事

イ 学校給食施設の整備・充実

【令和2年度の取組み】

- 給食センター冷暖房設備改修工事を実施した。
(2階事務室兼栄養指導室、調理室)
- 給食センター男子及び女子休憩室空調設備改修工事を実施した。

【成果及び今後の取組み等】

- 今後も計画的に老朽化した施設設備の改善を図り、安心・安全な学校給食を推進していく。

ウ 情報化の推進

【令和2年度の取組み】

- 電子黒板やデジタル教科書の活用とともに、プログラミング教育に関する教職員研修会を実施した。
- ICTを活用した授業支援及びICT機器の操作支援等のため引き続き情報教育業務委託を実施した。
- コンピュータ機器の整備及びデジタル教材の充実を図った。
- 国の「GIGAスクール構想」に沿ったICT環境整備を進めた。

- ※資料P161～162 「○教育センター経費」参照
- ※資料P164 「○小学校教育振興経費」参照
- ※資料P166～167 「○中学校教育振興経費」参照
- ※資料P169 「○特別支援学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 多くの学校で、電子黒板やデジタル教科書の活用に関する研修、プログラミング教育に関する研修を実施し、教職員のコンピュータ活用能力と情報活用能力の育成が図られた。
- 児童・生徒の更なる情報活用能力の育成とともに、情報モラル教育を推進する。
- コンピュータ機器・デジタル教材の更なる充実を図るとともに、これらを活用した授業支援、プログラミング教育に対する新たな授業支援を推進する。
- 国の「GIGAスクール構想」に沿い、学校のネットワーク環境整備や、児童・生徒への1人1台端末の整備を進め、個別最適化された学習環境を推進する。

(5) 育英事業の推進

ア 育英事業の支援

【令和2年度の取組み】

- (公財)小千谷奨学会において、経済的な理由により就学困難な者に対し奨学金の貸与を行った。
 - ・貸与者数 新規 17人 継続 54人 計 71人
 - ・令和2年度貸付総額 21,120千円
- (公財)小千谷奨学会において、小千谷学生寮を運営し、共同生活を通じた健全な学生生活の向上と、経済的負担の軽減を図った。
 - ・学生寮入寮者数(4月1日現在)
 - 新規 2人 継続 19人 計 21人

※資料 P 156 「○学校教育総務経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 小千谷学生寮の施設改修を行い、女子入寮のための環境が整備された。
- 育英事業の充実を図るため、(公財)小千谷奨学会の学生寮運営経費等に対して助成を継続する。
- ホームページやポスター・パンフレットなどの有効な手段を用いて、小千谷学生寮の入寮生募集に努めていく。

2 生涯学習の推進

(1) 生涯学習事業の推進

ア 学習機会の充実

【令和2年度の取組み】

- 第2次生涯学習推進計画に基づき、市民に学習機会を提供した。
- 障がい者の学習機会の充実を図るため、市内の障がい福祉サービス事業所が実施する学習活動への支援を行った。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら高齢者教育や青少年・家庭教育など多様な学習機会の提供に努めた。
- 地域に伝わる伝統文化を次世代に継承する事業を実施する団体を支援し、関係団体と連携して、シンポジウムを開催した。

※資料 P 169～170 「○社会教育総務経費」参照

※資料 P 173～174 「○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- コロナ禍でも、継続的な学習機会を提供し、活動が実践できた。
- 第2次生涯学習推進計画の浸透を図るとともに、関係機関・団体等と連携し、生涯学習課の持つコーディネーター機能を発揮しながら計画を推進していく。
- 成果や効果を実感できるプログラム作りに努め、継続的・循環的な学習を提供する必要がある。
- ツイッター等のSNSやチラシ、地元新聞などを活用して、様々な情報を発信することで、市民から関心をもってもらうよう努める。
- 「個人の要望」と「社会の要請」のバランスのとれた学級・講座の開催や参加しやすい環境づくりに努めることにより、生涯学習への関心を高め、参加者の増加を図っていく。
- 公民館分館においては、地域課題などの解決のため、市職員による出前講座を活用しながら、学習機会の仕組みづくりを推進していく。
- 障がい者の生涯学習を推進し、学習の機会を充実させるため、障が

い者施設や高校生・ボランティアと連携しながら、集合型学習の機会を提供していく。

イ グループ活動の支援

【令和2年度の取組み】

- 社会教育団体登録制度により、72団体に対し社会教育施設の利用に対して支援を行った。
- 公民館等で実施している講座から、新たに自主サークルとして学習活動へ移行するための助言・指導を行った。
- 市内で活動する障がい者団体の活動受入に協力した。

【成果及び今後の取組み等】

- 公民館等で実施している講座から、1つの自主グループが結成された。
- 市民会館の利用者は、社会教育登録団体の利用が多く、減免措置を講ずるなど今後も自主的に活動しているグループの支援を継続する。

ウ 指導体制の充実

【令和2年度の取組み】

- 青少年育成指導委員の指導技術向上と指導者意識を高めるため、資質の向上に向けた研修会を実施した。

【成果及び今後の取組み等】

- 研修で学んだ知識・技術を「手づくり教室」や「青少年キャンプ」で生かし、子どもの体験活動の効果を引き出した。
- 引き続き、青少年育成指導委員が学んだ知識や技術など学習成果を生かせるよう指導技術の向上を目指す研修会を実施する。
- 指導者を地域で活用するため県の人材名簿「ラ・ラ・ネット」や独自の人材名簿の整備をさらに進める。

エ 公民館活動の充実

【令和2年度の取組み】

- 高齢者学級、美術教室、外国人のための日本語教室、家庭教育地域交流振興事業を実施した。
- 新型コロナウイルス感染症対応事業として「小千谷歴史放送局」をHPで視聴できるようにした。(閲覧数 1,378件)
- 公民館分館活動の現状を把握するため、分館アンケートを実施した。
- 公民館分館活動においては、文化・スポーツ事業を中心に延べ10,136人が参加した。

※資料 P 173～175 「○公民館経費 ○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 初めての試みとして、民間の新聞社と連携し、新聞掲載とHPとを連動して小千谷の歴史について学習する機会を提供し、市内外に発信することができた。
- 今後は、40～50代の交流を促し、地域課題の解決にむけた人材の育成を図る。
- 市民のニーズを把握し、他の社会教育施設や関係団体との連携・協力により多様な講座の開催や参加しやすい環境づくりに努め、公民館利用者の増加につなげる。
- 市職員による出前講座を活用するなど、質の高い学習や交流の深まる学習プログラムを展開し、学習者の生活課題の解決に向けた学習機会の提供に努める。
- 公民館分館の活動について、ツイッター等のSNSやチラシ、地元新聞などを活用した情報を発信することで、市民から関心をもってもらうよう努める。
- 中山間地域の公民館分館において、高齢化や人口減少により活動の停滞が見られることから、分館活動のあり方について検討する必要がある。

オ 図書館サービスの充実

【令和2年度の取組み】

- 読書活動推進のため定期的なおはなし会や季節に合わせて「夜のおはなし会」や「クリスマスおはなし会」など、子どもと読書をつなげる事業を実施した。
- ボランティアグループと協力して書架整理や読み聞かせの活動を実施した。
- 利用者のぬいぐるみを預かり図書館を探検し、それにあわせて図書をお薦めする「ぬいぐるみお泊まり会」を実施した。
- 市民の読書への関心を高めるために、大人向け、子ども向け本の特集コーナー（1回/月）やミニコーナー（2回/月）を設置した。
- 高校生と連携して秋の読書週間にPOP展や部誌の展示等を実施した。

※資料 P 176～180 「○図書館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 「第2次子ども読書活動推進計画」に基づいた取組みを進める。

- 学童保育と連携したことで、図書館でのおはなし会の参加者数が令和元年度と比較し3倍を超える増加となった。
- 図書館施設ボランティアや事業ボランティアを育成していく必要がある。
- 本の特集コーナーやミニコーナーの展示方法を工夫し、展示を新しいものに定期的に替えることで特集本の貸出数が増加した。
- 市民ニーズに合った蔵書の充実を図るほか、レファレンスなど市民が便利に使える図書館サービスのPRに努める。
- 高校生との連携事業により、これまで利用の少ない世代に図書館へ興味を持ってもらうきっかけを作る機会となった。
- 本による読書体験とあわせて、様々な形態での情報や体験が取得できるサービス体制を構築する必要がある。
- ツイッターなどSNSや地元新聞などを利用して、様々な取り組みを紹介することで、「図書館に見える化」し、市民から図書館に興味をもってもらうよう努める。
- 計画されている新図書館を含む複合施設が、「賑わい・交流・憩の創出」を基本方針に、多様な機能が融合した、地域の知の拠点、また、まちづくりの拠点としての施設となるよう、関係課等と連携し準備を進める。

カ 生涯学習施設の整備

【令和2年度の取組み】

- 新図書館及び郷土資料館の開設に向け、公開でのプロポーザルを実施し、設計事業者を決定した。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として施設の整備を行った。
 - 市民会館網戸設置工事
 - 市民学習センター自動水栓化工事
 - 勤労青少年ホーム水栓取替工事
 - 勤労青少年ホーム網戸設置工事

【成果及び今後の取組み等】

- 施設の整備により、新型コロナウイルス感染症の予防対策を強化した。市民会館、図書館、市民学習センターなどの社会教育施設は老朽化が進んでいることから、施設の利便性と安全性を考慮した計画的な改修、更新を行う。
- 生涯学習・地域の情報発信の拠点として、新図書館や郷土資料館等の多様な機能を持つ複合施設の整備を進める。

(2) 青少年の健全育成

ア 相談業務の充実

【令和2年度の取組み】

- 青少年相談員を2名配置し、面談、電話相談、電子メールによる相談を実施した。青少年の悩みに応え、人生の目標を見出すよう導くための対応を行った。(相談件数 延べ37件)
- 相談者は主に中学生、高校生であり、電話による相談が多い。数年にわたる継続的な相談もある他、無言電話も増加している。

※資料P172～173 「○育成センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 相談内容により他機関の専門相談員と連携し、課題解決の支援ができた。
- 青少年自身の悩みへの対応のほか、保護者による子どもの進路相談等も増えてきており、多様な支援を周知する必要がある。

イ 育成指導体制の充実

【令和2年度の取組み】

- 青少年育成センター運営協議会、青少年補導委員会、青少年問題協議会による会議・研修会を開催した。
- 街頭補導を年間44回実施し、従事者は延べ132人、声かけをした少年は325人であった。
- 青少年の健全育成に関する活動を推進するため、青少年育成指導委員が、親子手作り教室の指導や青少年キャンプを実施した。

※資料P172～173 「○青少年対策経費 ○育成センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 青少年補導委員による街頭補導活動(愛の一声運動)、関係機関との合同パトロールを実施し、青少年の実態を把握できた。その結果、問題行動はほとんどなかった。
- 青少年育成センターを中心に学校・地域・PTAなどと連携を図り、広報活動による啓発活動を通して、地域に根ざした青少年健全育成活動を推進する。
- 青少年キャンプの体験活動を通して、防災の基礎知識の習得や達成感の醸成、他者との交流などが培われた。
- 様々な問題を抱えながら、義務教育を終えた青年期の人の把握や相談・支援のため、関係機関との連携が必要となっている。

ウ 家庭教育の支援

【令和2年度の取組み】

- 乳幼児期・少年期における家庭教育の啓発を図るため、家庭教育地域交流振興事業として小中学校や幼稚園が行う講演会等に講師を派遣する等の支援を行った。(実施回数15回、延べ参加人数1,014人)
- 発達障がい等への理解を深めると共に、子どもと共に保護者が成長することを目的とし、発達障がいの子どもを持つ親を対象に、子育て講座を開催した。(実施回数3回、延べ参加人数36人)

※資料P173～175 「○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 今年度新たに取組んだ「子育て講座」の実施により、発達障がいの子どもを持つ親への支援のプログラムの道筋ができた。
- 子どもを取り巻く状況や社会の課題を的確にとらえた講座、教室を、学校・PTAなどと連携し、今後も継続して実施する必要がある。
- 子育て支援の関係課や関係団体と情報を共有し、連携や役割分担しながら、講座の開催等の事業に取り組む。
- 家庭におけるメディアコントロールや基本的な生活習慣を身に付けるための啓発活動を強化する。

エ 地域活動などへの参加推進

【令和2年度の取組み】

- PTAや地域の団体が実施する青少年を対象とした教室に青少年育成指導委員やスポーツ推進委員を派遣し、活動の支援を行った。
青少年育成指導委員の派遣 3回、延べ参加人数 82人
スポーツ推進委員の派遣 11回、延べ参加人数 285人
- 自然観察会や体験活動を行う社会教育活動団体の支援を行い、青少年の参加を促した。

※資料P172 「○青少年対策経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- コロナ禍により、青少年育成指導委員やスポーツ推進委員の派遣依頼の件数は激減したが、依頼のあった事業については、安全に実施できた。
- ボランティア活動の情報提供や人材・ニーズなどを関係機関と連携調整し、活動の支援を行う必要がある。

- 青少年の地域参加を促すため、関係機関との連携を強化し、事業を実施する。

オ 地域ボランティアの活動支援

【令和2年度の取組み】

- 放課後子ども教室における学校ボランティアの情報交換のための代表者会議を開催した。また、資質向上のために吐瀉物対応マニュアルを配布した。
- 高齢者学級のサークルや社会教育活動団体が、小学校にボランティア活動が行えるよう調整した。

【成果及び今後の取組み等】

- 地域ボランティアの発案で、新たな枠組みで放課後子ども教室の実施に向けた試行が実施された。
- 地域ボランティアの活動の励みとなるよう、いきいき県民カレッジ「成果活用手帳」を希望者に配布する。
- 地域ボランティアの資質向上のため、新潟県等が実施する各種研修会に積極的に参加するとともに、地域ボランティアの拡充や交流の取組みを進めていく。

カ 子ども・若者育成への支援

【令和2年度の取組み】

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ホットプラザ祭は開催せず、利用者協議会によるイルミネーションイベントを開催した。

【成果及び今後の取組み等】

- おぢやまつりへの参加やホットプラザ祭の開催など交流の場を提供し、若者世代のつながりの強化や育成を推進していく。

キ 勤労青少年の活動支援

【令和2年度の取組み】

- 教養講座として、延べ90講座・教室を開催した。また、勤労青少年の参加を促すため「フラダンス体験教室」など新しい講座・教室を開催し、新たな参加者獲得に努めた。
- 講座の参加者を対象とした講座に対するアンケート調査を実施した。
- 講座の参加者がより主体的に活動を行うよう、自主グループ化に向けて指導・助言を行った。

※資料P107～108 「○勤労青少年ホーム運営事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 若者のニーズや課題に対応した学習機会の提供を充実する必要がある。
- 講座・教室への新規の参加者を増加させるため、SNS を活用した講座・教室の PR を実施し、勤労青少年を始めとした幅広い世代への情報発信を図る。

3 文化の振興

(1) 文化・芸術の振興

ア 文化団体などの育成支援

【令和 2 年度の取組み】

- 国際交流・文化・スポーツ振興基金を活用し、多彩な活動を展開する文化団体への支援を行った。
基金活用団体 1 団体
- 市内で活動する個人や団体に対し、活動の成果を発表する機会として、市民文芸のつどい・文芸おちや発刊・小千谷市美術展覧会などを開催した。
- 市民学習センター「楽集館」において、団体等が作品展示する機会を提供した。
- 小千谷市美術展覧会では、市内高等学校と連携して、ポスターの作製を行った。
- 市内高等学校と連携して、デッサン教室、陶芸教室及びフォトセミナーを開催し、制作や作品展示する機会を提供した。

※資料 P 173～175 「○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 小千谷市美術展覧会では、コロナ禍における対応を実行委員と考え安全に配慮して実施できた。
- 引き続き、市内高等学校と連携して、制作や展示する機会を提供する。

イ 芸術鑑賞の機会の充実

【令和 2 年度の取組み】

- 令和 4 年 5 月に開催予定の市民オペラの公演に向けて、市民オペラへの機運醸成及び本物の芸術に触れる機会を提供するため、日本の第一線で活躍するオペラ歌手によるコンサートを開催した。
- 戦後 75 年にあわせ、企画展「戦後 75 年 平和への祈りを千羽鶴にこめて」を小千谷市遺族会と協働し、戦争遺品や戦時写真の展示を実施

した。(来場者 4,872 人)

【成果及び今後の取組み等】

- 演奏会等を開催することで、市民の文化・芸術への関心を高めることができた。
- 令和 4 年 5 月に開催する市民オペラ公演に向け、市民合唱団の募集や練習を開始し、本番の公演準備を進める。また、市民オペラ公演の予行練習として、市民合唱団が参加するコンサートを開催することで、多くの市民が芸術に親しむ機会を提供する。
- 芸術文化に関する生涯学習機会の充実を図るため、他の自治体施設との相互協力を図っていく必要がある。

(2) 文化財等の保存と活用

ア 文化財の調査、保存

【令和 2 年度の取組み】

- 各種開発に伴う埋蔵文化財の試掘調査を栗山地区等、延べ 13ヶ所で実施した。
- 国指定文化財「小千谷縮」や市指定文化財「小千谷の雛祭りにおける絵紙飾りの習俗」の 2つの文化財を活用した企画展「小千谷のひな祭り C(ちぢみ)×U(浮世絵)=H(ひな祭り)」を小千谷絵紙保存会と協働し、展示を行った。(来場者 700 人)
- 県指定文化財「横町屋台人形巫女爺」の屋台や市指定文化財「豊年獅子舞」の獅子頭の修理および伝統民俗芸能シンポジウムを関係団体と連携し、実施した。

【成果及び今後の取組み等】

- 埋蔵文化財の試掘確認調査、分布調査により、小千谷市域で縄文時代～室町時代の遺跡、約 78 件を発見し登録した。
- 次年度以降も県営圃場整備や国県道改良工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査を予定しており、関係機関等と連携・協力し進める。
- 企画展は小千谷にゆかりのある内容で実施し、市民のみならず市外の方からも好評を得た。
- 引き続き文化財を活用し、市民から文化財の理解を深めてもらう必要がある。

イ 文化施設(郷土資料館等)の整備

【令和 2 年度の取組み】

- 文化施設建設基金の預金利子を積立てた。現在高は約 7 億 1,489 万 7 千円となった。
- 新図書館及び郷土資料館の開設に向け、設計業者が決定した。

【成果及び今後の取組み等】

- 生涯学習・地域の情報発信の拠点として、図書館や郷土資料館等の多様な機能を持つ複合施設の整備を進める。
- 現在収集・保管する資料を、今後保存・活用していくための整理作業を進める。

ウ 後継者の育成

【令和2年度の取組み】

- 小千谷縮布技術伝承者養成事業補助金などにより、小千谷縮技術保存協会が実施する後継者養成事業を支援した。

※資料P170 「○文化財保存事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 伝統文化の保存と継承のため、小千谷縮技術保存協会等と連携し、継続した取組みが必要である。

エ 郷土の偉人の顕彰

【令和2年度の取組み】

- 西脇順三郎を顕彰する「西脇順三郎文学賞（仮称）」創設のため、準備委員会を組織し、創設のための準備を行った。

※資料P176～180 「○図書館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 郷土の偉人に関する資料の収集と整理に努め、資料を市ホームページで閲覧できるよう進めるとともに、まちあるきや講座で顕彰する。
- 西脇順三郎を顕彰するため、「西脇順三郎文学賞（仮称）」を創設する。

4 スポーツの振興

(1) 地域スポーツの振興

ア 生涯スポーツの推進

【令和2年度の取組み】

- 高齢者向けの運動教室を西小千谷地区、東小千谷地区、岩沢地区及び真人地区で、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催方法等を変更して実施した。
- 幼児と保護者向けの親子運動教室を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場を変更して実施した。

- 障がい者スポーツの普及や理解促進の事業として、障がい者支援施設利用者の協力を得て、8月から12月の間に市民向けのボッチャの出前教室を実施した。(20回 参加者数延べ390人)
- 生涯スポーツ活動の推進を図るため市内各団体からの依頼に対して、スポーツ推進委員を講師として派遣した。(15回)

※資料P184～186 「○社会体育振興事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- コロナ禍ではあるが、高齢者を対象にした運動教室への参加者が多く、運動の習慣化が図られてきており、今後も継続していく。
- 親子運動教室は、幼児期の運動習慣が子どもの発達に良い影響をもたらすことの認識が浸透してきており、健康未来こども課と調整、連携を図りながら事業を継続していく。
- ボッチャの普及を通じて、障がいの有無に関わらず、ともにスポーツに親しむ機会が創出されてきており、今後も障がいに対する理解を広め、障がい者スポーツの普及を図る。

イ 競技スポーツの推進

【令和2年度の取組み】

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止せざるを得ない大会も多かったが、競技力向上のため、8月以降は、各種スポーツ大会を市スポーツ協会、種目別競技団体等と連携して開催した。
- ジュニア層の競技水準の向上を図るため、学校、市スポーツ協会、種目別競技団体等と連携して、ジュニア選手の育成・強化に努めた。また、全国で活躍する、世界を目指すトップレベルの選手の活動支援を行った。

※資料P184～186 「○社会体育振興事業」参照

P186～187 「○スポーツ振興基金事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- スキー、ラグビー、ソフトテニス、卓球、バレーボール、サッカー、フットサル等の競技で全日本選手権大会、国民体育大会、全国高等学校総合体育大会等の全国大会出場者へ報奨金を交付し、支援した。(37件)
- 全国、世界に通用する選手・チームを数多く輩出できるよう、今後も市スポーツ協会及び種目別競技団体等と連携を図っていく。
- 国際交流・文化・スポーツ振興基金を活用し、今後も全国大会以上の

大会へ出場する選手・団体に対し、報奨金を支給するとともに、世界の舞台で活躍する選手のサポート事業を実施する。

- オリンピック、パラリンピック大会などに出場することを目指している選手の支援に取り組む。

ウ スポーツ活動の普及推進

【令和2年度の取組み】

- 「小千谷市いきいきガイド」にスポーツ大会、行事・スポーツ教室のページを設け、全戸配布するとともに、市ホームページに掲載して市民に情報提供を行った。

【成果及び今後の取組み等】

- スポーツ大会等の結果も含めて市ホームページや小千谷市スポーツ情報 Twitter に掲載したほか、無観客の大会では YouTube によるライブ配信を行い、市民の利便性の向上を図ることができた。
- 広報誌などの紙媒体と共に SNS をさらに活用し、幅広い世代への情報発信を図る。

エ 指導者養成の推進

【令和2年度の取組み】

- 長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会の指導者育成事業を活用し、指導者の養成と資質向上を目的とした講習会を開催した。
 - ・ジュニアリーダー研修会（2回 参加者数延べ36人）
 - ・種目別競技（野球、陸上競技）指導者研修会（参加者数延べ264人）
 - ・専門指導者派遣活用事業（78回 参加者数延べ1,578人）
- スポーツ推進委員の資質向上のため、スポーツ推進委員協議会での情報交換のほか、他市で開催された合同研修会に参加した。
また、協議会独自の研修会を企画し実施した。

※資料 P 184～186 「○社会体育振興事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 質の高い指導を求める声が高まっており、今後も長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会や新潟県の事業等を活用し、指導者のニーズに合わせた実技講習会や、選手の自主性を育てる指導、コミュニケーションスキル向上を目的とした、ジュニアスポーツ指導者のための講習会を開催する。
- 幅広い年齢層の市内各団体から、スポーツ推進委員の講師派遣依頼を

受けており、さらなる指導力向上のための内部研修会の実施と共に、外部研修へも継続参加する。

オ 健康・体力づくりの推進

【令和2年度の取組み】

○拠点施設である総合体育館トレーニングルームのマシン整備を行い、利用者の利便性の向上を図るとともに、利用者にトレーニングメニューの提供を行った。

新規登録者数 189人 利用者数 26,573人

○健康づくりの観点から、成人の運動習慣化を図るため、民間企業等とも連携し健康ポイント事業（ポイント制の運動教室）を行った。また、運動のきっかけづくりとなる事業や体力測定会を定期的に行い、運動に関する相談窓口を設けた。

《健康ポイント事業》

※事業主体は、健康未来こども課

□健康教室 地域編 2会場 参加者数延べ34人

一般編 2会場 参加者数延べ18人

□体力ヘルスチェック 10回 参加者数延べ94人

□「自宅でできるおすすめ体操」の動画配信

【成果及び今後の取組み等】

○総合体育館トレーニングルーム利用者のニーズを踏まえた機器の整備を行った。今後も、利用者ニーズの把握に努め、市民の体力づくりに繋がるトレーニングルームとして活用を図っていく。

○運動の習慣化を図る市民の割合に、増加の兆しが見られる。

今後も、運動する場の提供や運動メニューの考案など行えるよう、医師、保健師、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、各種スポーツ教室の充実を図る。

○健康ポイント事業では、仲間を誘っての運動の継続化が見られる。

今後、フレイル予防のための講座との連携により、運動メニューの指導や栄養面でのサポート等、新たな内容を取り入れ、各年代層にわたる運動の習慣化を図っていく。

(2) 体育施設の整備

ア 体育施設の整備・充実

【令和2年度の取組み】

○多様化する市民のニーズに効果的、効率的に対応するため、既存施設の整備充実に向けた。

○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として施設の整備を行った。

白山運動公園ジャングルジム更新工事
千谷運動公園野球場防球ネット更新工事
千谷運動公園ラグビーゴールポスト撤去工事
グリーンヒル白山自動水栓化工事
グリーンヒル白山体育室網戸設置工事
市民プール塩素供給装置更新工事
総合体育館冷温水発生機修繕工事
総合体育館融雪設備修繕工事
総合体育館メインアリーナ床金具交換工事
総合体育館自動水栓化工事
総合体育館網戸設置工事
東小千谷体育センター水栓取替工事
東小千谷体育センター網戸設置工事

※資料 P 187 「○都市公園体育施設等管理経費」参照

※資料 P 188 「○総合体育館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

○施設の整備により、新型コロナウイルス感染症の予防対策を強化した。
年次的に既存施設の整備充実に取り組む。

イ 白山運動公園の再整備計画

【令和2年度の取組み】

○白山運動公園内の全体レイアウトの検討を行った。

【成果及び今後の取組み等】

○屋外体育施設管理運営方針及び施設類型別管理計画・個別施設計画を策定する。

ウ 屋根付き屋外運動施設の整備検討

【令和2年度の取組み】

○市内屋外スポーツ施設の利用状況等の分析、調査を行うと共に、屋根付き屋外運動施設の建設方法等について、情報収集を行った。

【成果及び今後の取組み等】

○引き続き、屋外スポーツ施設の事業手法等について、検討を進める。

5 人口減少対策

ア 少子化対策の推進

【令和2年度の取組み】

- 独身者に対する出会いの場を創出するため、「ときめきめぐりあい推進事業」を引き続き実施した。
- 令和2年度の会員数は、新規に19名が入会し、全体で176人となった。めぐりあい（お見合い）は24回、イベントは3回実施し、5組（イベントからの成婚カップル1組を含む。）の成婚があった。
- 感染症拡大防止のため、少人数での女子会、男子会イベントを3回実施し、自分磨きや情報交換を行う場を創出した。

※資料P172 「○ときめきめぐりあい推進事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 会員獲得のため、女子会型イベントや男子会型イベントを実施し、会員獲得した。（3回予定のうち1回中止）
- 本事業開始（平成21年度）から本年度までに、市外からの転入者は32名となり、誕生した子どもは少なくとも34名を超えた。
- めぐりあいサポートセンターでの会員外の相談や助言から成婚するケースが増加している。
- 令和2年度は感染症の影響で婚活イベントを実施できず、結婚への種まきができていない。婚活イベントを実施することで、結婚へ結びつく出会いの場を多く提供する必要がある。

Ⅲ 点検及び評価に対する意見等

令和2年度の取組み状況等の点検・評価に対する意見等は、以下のとおりです。

1 学校教育の充実

・ふるさと学習に関して、小千谷の学校やその地域で、非常に魅力的な学習をしていると思う。例えば、片貝であれば、伝統芸能、東山であれば、今は、3代目の牛太郎を飼育している。

自分が住んでいる地域の小学校では、商店街の訪問をよくやっており、中学校になると、その訪問した商店街の結果を一步進めて、どうやって活性化していくかというような提言を、去年、生徒が行っていた。また、小千谷高校の「小千谷学」は、本当に素晴らしい取組だと思う。

・各学校でせっかく素晴らしい取り組みをしているにもかかわらず、他の地域の人には、全くわからない。とてももったいない気がする。できれば年に1回ぐらい一堂に会して、発表会などができるといいかなと思うが、なかなか物理的に難しい。そ

れであれば、各学校の取組を、3分ぐらいの動画に編集してもらい、それを持ち寄って、ふるさと学習の最後のまとめの時点で、端末を活用して、その動画を見て、他の学校の取組がわかれば、子ども達の興味が、色々な所に広がっていくのではないかと思う。それを1つ提言させていただきたい。

・今回の、児童生徒一人一台端末は、子ども達だけではなく、教職員の皆様や、保護者の方など、私たち大人が理解していかなければいけない部分で、きっとできる事は、私たちが想像している以上のことがあるのではないかと思う。

・小千谷小学校、小千谷中学校は人数が多いが、他の小中学校は、人数がとても少ない。高校生になり、みんなが一緒になった時に、同じ小千谷市に居ても、一步引いてしまうという感覚があると聞いたことがある。今の段階で、せっかくオンラインなどで繋がる形ができるので、市内の学校同士で、オンラインの交流ができればいいのではないかと感じた。

・小千谷学生寮の女子入寮について、第1号になる人は、とても不安だと思う。例えば、オンラインを活用して、建物内を動画で撮影し、中はこのような状態になっているとか、セキュリティは安全ですとか、様々な形で発信していただければ、それを見た方は安心して、入寮できると思う。

・新型コロナウイルスが蔓延してから、1年以上になるので、動画で発信するとか、いつまでもできないというのではなく、できる可能性を少しでも見つけて、それを新しい切り口にして、プラスに変えていくような取組をしていただきたい。

・GIGAスクール構想で、小中学校の児童生徒に、パソコンが一人一台ずつ整備されたが、本当の有効活用は、これからになると思う。また、新型コロナウイルスによって、世の中が変わっていく事に対して、どう対応しながら活用していくかということは、非常に大切な視点であると思う。

・小千谷の新型コロナウイルスの現在の蔓延状況を見ると、今後もこういった状況が続く中で、これからも学校が休校になるような状況が出てくる可能性があるのではないかと思う。一刻も早く、家にパソコンの持ち帰りができるようにして、休校が長期に渡った場合に、有効活用できる体制をなるべく早く作るべきではないかと思う。

・元横綱日馬富士が、モンゴルの学校を作るということで、既に使わなくなった学校の机や椅子を、以前、市で寄附していたが、そういったことに関しても、子ども達の視野を広げるという意味で、様々な形で、取り組みができるのではないかと思う。

・現在の喫緊の課題は、コロナ禍で、いかにこれまでやってきた、あるいはこれまで計画していた教育活動に近いものを実現していくかということである。オンライン、リモートでできることを、何とか充実させていかなければならないと思う。

・一人一台パソコンの整備は国策であるが、非常に評価したい。実際、家庭にパソコンが1台、ある家も、ない家もあるわけで、平等という面では非常に良いことだと思う。

・小千谷に生まれた人と、自分のように途中から小千谷に入った人間には、小千谷の良さの感じ方に、食い違いがあることへの発見があった。

・日本語の言葉の中で、言動がいじめにあたるもの、例えば、言葉の暴力とか、大人

の社会にもあるパワハラ、セクハラ云々、また、体罰関係など、そういう面で、この言葉というものは、誰かがきちんと教えなければならない。

・震災時の、乏しかった衣食住の苦勞が忘れ去られないように、震災の給食も配慮されているようだが、物品の豊かさ、また、食べ物の作り方を知らないで、外食だとか、何でもすぐに手に入る時代であり、様々なことを考えさせられる。

・味の濃いのに慣れっこにならないように、日本食の味の薄い、だしの利いた、味覚が麻痺しないような食事にも配慮いただき、学校給食で食べさせていただければ、ありがたいと思う。

2 生涯学習の推進

・今は、新しい言葉で、ウェビナーという言葉がある。これは、ウェブセミナーをもじった言葉だそうである。今まで、新潟や東京に行かなければ聞けなかった話が、そういった形で、パソコンで見聞きできるような時代にどんどんなっている。

例えば、ウェブセミナーによって、どなたかが、小千谷の絵画を紹介しながら、解説するような、番組ではないが、そういったものを企画すれば、見てくださる方もかなりいらっしやると思うので、そういった発想の転換が必要ではないかと思う。

・地域貢献活動で、今年も中学生が、除草作業とか地域の人達と、公園や河川脇の清掃作業をやってくれた。早朝ながら、子ども達が、町内の担当役員に電話をして、大人の人と話をする場を中学校の先生方が配慮してくださった。

コロナ禍で、祭り関係が一切なくなったことで、お囃子とか、PTA関係行事ができず、大人同士や子ども同士の交流が、少なくなっている。地域活動は、地域の人とよく知り合う場だと思う。常に知らない人には云々という指導もあるが、知らないから逆に知ってほしいということを、子ども達に伝え、子ども達もその事をわかってくれたようである。

・市職員による出前講座は、色々なものに市職員のライセンスをもっている人達の、専門的な出前をしてくださるものだと聞いて、ありがたいと思っている。

・今は、個の活動、個の楽しみが優先されており、コロナ禍で不要不急の外出、どうしても必要と言うわけでもなく、急いでする必要のない用事ではあるが、何もしない云々ではなくて、みんなで集まって何かを楽しもう、みんなで集まって誰かの役に立つことをしよう、そういうものに配慮しながら、日々、発信してくれれば良いと思う。

・西脇順三郎の顕彰については、それこそ今、わからない子ども達も増えていることもある。偉人伝ではないが、そういう展示会場で教えられる場面もあれば良いと思う。

3 文化の振興

・市の美術展に、高校生からも、色々な作品を出してもらっているが、見に来るのは年配の方ばかりで、若い人が来てくれない。一方で、サンプラザで開催する児童生徒の絵画展に行ってみると、家族連れで、子ども達も大勢見に来てくれている。

もし、スペース的に可能であれば、東小千谷の美術展の会場で、一緒にできれば、子どもたちも足を運んでくれるし、小千谷の先輩方が、こんな作品を作っていると、

目にする機会ができるかなと思う。ご一考願えればと思う。

・ひいな祭りや、小千谷縮について、イベントがなくなるという事は、小千谷縮を着る機会がなくなっているという事だと思っている。せっかく小千谷には、小千谷縮というものがあるので、若い人達にもっと興味を持ってもらい、この文化が廃れたり、なくなったりしないためにも、なるべく若い人達に興味を持ってもらえるような、取り組みをしていただきたいと思います。

4 スポーツの振興

・新型コロナウイルスにより、部活を一生懸命にやっている子の発表の場である市内大会がなくなってしまい、なかなか家族がその頑張りを目にすることがない。そういった機会を増やす意味では、今冬、スキーのクロカンや、定点カメラで生中継していたが、あれは結構、臨場感が出ていたし、ああいう風に簡単にできるのであれば、みんなも家庭で、うちの子がヒーローになるとか、苦手なものを一生懸命にやっている姿を家庭で見られるような形にできるのではないかな。

せっかくICTが発達している時代なので、活用することができればいいと思っている。

・今年のオリンピックを見ていて、スケートボードであったり、サーフィンであったり、若い人達のスポーツがどんどん出てきていると感じた。今の子どもたちが、取り組んでいるものを、大人がどんどん応援して、そういう場の提供をする。

自分は、この小千谷は自然豊かなところがいい所だと思うので、広大な土地を利用して、今後、こういったスポーツの、ここにしかない施設を整備するなどして、がんばっている子どもたちが、小千谷に来て練習したいと思えるような、そういう、きっかけづくりになるようなことができればいいと思う。全く違う切り口から、未来の子ども達に是非、投資をしていただきたいと思います。

5 人口減少対策

・人口減少対策について、人数は忘れてしまったが、この新型コロナウイルスの影響で、今年の小千谷市の出生数が非常に減ったという話も聞いており、非常に危機感を感じている。ときめきめぐりあい推進事業は、今まで成果を上げてきた事業だと思うが、それに加える形で、さらに教育委員会として、何かできることはないかということを考えてもいいのではないかな。

・小千谷で働く方で目立つのは、奥さんが地元の方だと、奥さんに連れられる形で、ここに住んで、働いているという方が、結構いらっしゃる。いかに女性の方に、小千谷に帰ってきてもらうかということが大事な視点の1つであり、そこについて、何か、考えられることがあるのではないかなと思っている。

令和2年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

令和3年8月

編集・発行 小千谷市教育委員会

〒947-0028 小千谷市城内四丁目1番38号

(小千谷市健康・こどもプラザあすえ〜る)

電話 0258-83-3519

FAX 0258-83-5779